

社会福祉法人^{恩賜}済生会和歌山病院
がん化学療法施行患者の急変時の緊急事態等に対応するための指針

1. 済生会和歌山病院 がん化学療法施行患者の基本的対応

済生会和歌山病院（以下、当院）ではがん化学療法を原則、外来通院治療で行う。ただし、有害事象の発現管理、有害事象の制御が困難、外来通院が困難、社会的事情等の理由で外来通院治療出来ない場合は入院で化学療法を行うことを考慮する。

2. 体制について

専任の医師、看護師又は薬剤師が院内に常時 1 人以上配置され、患者からの電話等による緊急の相談等に 24 時間対応する。

時間外診療及び、救急外来においては、がん化学療法担当医師、看護師又は薬剤師を通じて、患者急変時などの緊急時に早急に主治医に連絡し、対応の指示を仰ぎ入院が必要な場合は入院にて対応する。

【24 時間対応】

1. 緊急時の電話等での相談等について

患者及び家族より電話での相談時、主治医又は専任医師、もしくは専任看護師又は外来当直・日直看護師、もしくは外来当直・日直薬剤師又は専任薬剤師が 24 時間相談内容・症状等に応じて対応を行う。

2. 緊急時の受診・入院について

患者が急な体調の変化などの緊急時には、当院で受診し、必要に応じて入院できるようベッドを確保する。

3. 院内での情報共有について

24 時間安全に対応するために、カルテの付箋機能を使用して「化学療法中の患者です！」「免疫チェックポイント阻害剤（薬剤名）投与患者です！何かあれば断らないで下さい。」と掲示を行い、すぐに対応できるよう情報共有を行う。

3. 他の保険医療機関との連携について

当院はより充実したがん化学療法を行うため、地域の保険薬局と連携し、患者サポートを充実する。和歌山県下統一の「がん薬物療法共通トレーシングレポート」にて患者情報を受け入れる体制を取り、緊急時に入院できるように対応する。

4. がん化学療法レジメンについて

実施されるがん化学療法レジメンは全て、当院の外来化学療法委員会にてがん化学療法のレジメン（治療内容）の妥当性を評価し、審議を経て承認される。当院で行われているがん化学療法レジメンはホームページで公開する。

【レジメン（治療内容）審査について】

1. 当院では、外来化学療法委員会で審査・承認の上、登録されたレジメン（治療内容）のみを行っています。

2. 外来化学療法委員会は、化学療法に携わる各診療科の専任医師・がん化学療法専任薬剤師・専任看護師、専任臨床検査技師、専任管理栄養士、専任事務員で構成され、治療内容の有効性・安全性について評価や承認を行う（年6回開催）。
3. 新しいレジメンを開始する前には、がん化学療法専任薬剤師より関連部署に対して、有害事象等を含んだ情報提供を行い、当院で24時間対応できる体制を整える。

社会福祉法人^{恩賜財団}済生会和歌山病院 外来化学療法委員会

2022年1月7日作成

2026年5月11日改訂

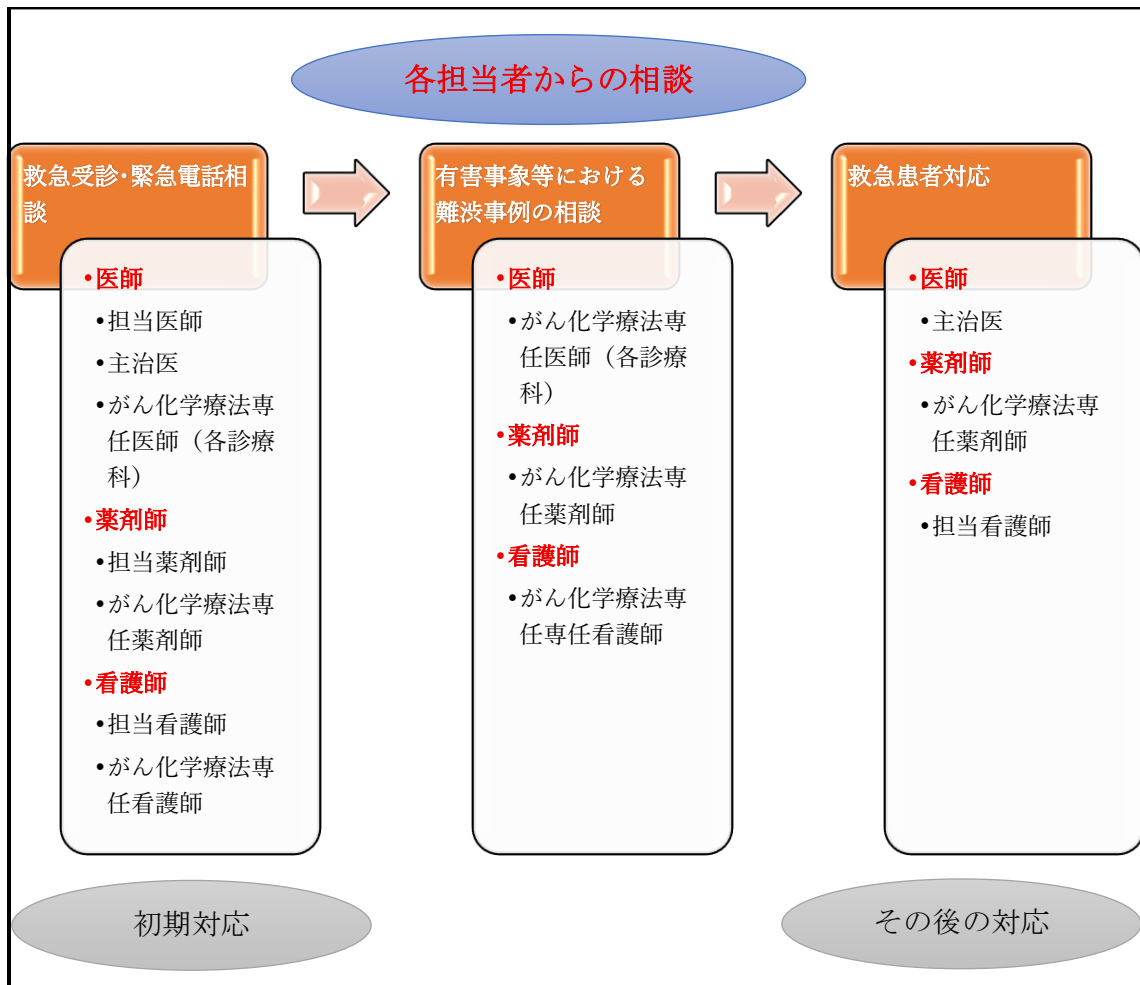
外来で化学療法を受けている患者の皆様へ

社会福祉法人^{恩賜}財団済生会和歌山病院では、外来腫瘍化学療法診療料・連携充実加算の体制として、急変時・緊急時等に対応するための指針を整備し受診できる体制を整えています。
体調の急変時には下記へご連絡ください。

【診療時間内・外】受診している診療科及び、主治医名をお伝えください。

<連絡先> 073-424-5185 (代表)

🌸 外来腫瘍化学療法診療料に係る急変患者対応手順 (時間内・外)



各診療科：外科/消化器内科/リウマチ・膠原病科/呼吸器内科

2026年5月11日作成